

代表質問

市民が「安全で安心して暮らせる」まちづくりを



社民・民進・護憲クラブ
森田 義孝 議員

空家対策の取り組み状況について聞きたい。

答 今年度は、本格的な空家対策に向けて、空家等対策協議会の設立、空家等の実態

調査、空家等対策計画の策定及び空家の適正管理条例の制定を行うこととしている。

設基準の見直し等、マニュアルの見直しで対応すべきところは、随時、見直しを図ってきているところである。今後、熊本地震での課題を踏まえ、関連のある国の防災基本計画、県の地域防災計画の見直しの動向を見きわめながら進めていきたいと考えている。

市長の政治姿勢とまちづくり

問 平成28年3月議会において、まちづくり総合プラン、アクションプログラム、大牟田市まち・ひと・しごと創生総合戦略、平成28年度予算が可決され、いよいよ明日の大牟田づくりに向けた「中尾市政の船出」が始まった。

市長の行財政運営への基本スタンスとまちづくりへの想いについて聞きたい。

答 若い人もお年寄りも、みんなが夢や希望を持ち、元気でお互いが笑顔で挨拶を交わし、まちなかには多くの人があふれ、行き交う、そうした明るくにぎわいのある、誰もが住みやすく、あらゆる世代が成長できるまちを目指していきたい。

空家対策の取り組み状況

問 全国の自治体において、空家対策が課題となっており、国の動きとあわせて、本市でも、平成28年度内での空家等対策計画の策定に向けて、取り組みが進められている。

平成28年熊本地震災害の教訓と課題

問 大牟田市地域防災計画については、国の防災基本計画及び福岡県地域防災計画との整合性及び関連性を有するものであり、大牟田市総合計画2006～2015の基本理念や施策を踏まえ、地域の特性や災害環境に合わせた独自の計画とされている。

また、本計画は、災害基本法第42条の規定に基づき毎年検討を加え、必要があるときは大牟田市防災会議において修正しなければならないとされている。

平成28年熊本地震による大規模災害の実態と状況を踏まえ、大牟田市地域防災計画の見直し等を図られるのか聞きたい。

答 大牟田市地域防災計画の見直しについては、市有地における応急仮設住宅の建設候補地台帳の作成や、災害対策本部のスペースの拡充などを明記することとし、避難所開



益城町の避難所の状況

大牟田・荒尾RDFセンターの今後の方向性

問 大牟田・荒尾RDFセンターについては、まちづくり総合プランにおいて、平成28年度までに「ごみ処理施設の方向性」を決定するとされている。

RDFセンターの今後の方向性、検討の視点について聞きたい。

答 新しい処理施設を建設すること、RDFセンターを平成35年度以降も継続して使用することの2つの方向性があると考えている。

RDFセンターの継続使用については、大牟田リサイクル発電事業の動向を踏まえ、新たな引き取り先の確保もあわせて検討していくことになるかと考える。